

基礎工事不要で簡単設置、移動OK

車庫ポン

尾花沢市の小内鉄工所（小内隆夫社長）は、1・6メートルの積雪に耐える強度があり、基礎工事なしで簡単に設置できる可搬式耐雪車庫「車庫ポン」を開発、今年から本格販売に取り組み、県からこのほど、鉄骨・鉄筋工事業で初めて、中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画として承認された。

「経営革新計画」 県の承認を受ける

耐雪車庫（ガレージ）を設置する際は、基礎工事が終わった現場で資材を組み立てるのが一般的で、基礎部分に固定するため、一度設置すると移動できない。「車庫ポン」は、自社工場内で製作した骨組みや梁（はり）を溶接し、ボックス構造にすることで強度を確保した。外壁やシ

小内鉄工所（尾花沢）が開発、販売



小内鉄工所が開発した可搬式耐雪車庫「車庫ポン」

積雪1.6メートルに耐える

ヤッターなどを取り付けた完成品は大型車両で現地に運搬し、クレーンでつり上げて設置する

だけという手軽さ。舗装地はもちろん、傾斜地でなければ砕石の上でも設置が可能だという。間口は幅2・7メートル、高さ2・7メートル、奥行きは6メートル、3ナンバー車や2ストトラックも格納できるサイズ。重量は約1・1ト。基本的には置くだけだが、アンカーによる固定も容易にできる。

変えたいと7、8年前に自家用のつもりで試作したのが開発のきっかけと小内社長。その後、耐久テストを重ね、屋根の積雪が約1・6メートルでも強度に問題がないことを実証した。去年、同市内のモニター3世帯に試験販売。意見を聞きながら製品改良に生かしている。

基礎工事が不要なこと、その分の経費や時間をカットできるほか、降雪期でも地面の除雪さえすれば天候に関係なく設置できる。設置後に移動できるため、借地でも導入しやすい。農園の資材倉庫などとしても活用できるという。「夏と冬で車の置き場所を変える」と話している。問い合わせは同社0237(200)33373。

「鉄工所は基本的に受け身の仕事だが、自分から提案してエンドユーザー向けの事業を展開することで経営の多角化と売り上げ増に結び付けた。また、これまで培ったノウハウを生かし、雪国、農村に役立つものを提案していきたい」と話している。

価格は、尾花沢市、大石田町内であれば運搬、設置費込みで約70万円。それ以外の地域でも受け付ける。受注製作のため、受注から設置までは最短で10日程度かかるという。経営革新計画では本年度の販売目標を10台、3年後は20台に設定。5年後の経常利益も現在の20%以上増を目指している。